

### 「地域金融推進レポート」の概要

県が、毎年、県内中小企業2,500社にアンケート調査を実施し、調査結果による地域密着型金融推進の取組状況の現状把握と評価を目的としている。(平成20年度から実施、今回11回目)

#### ポイント1

メインバンクに対する評価  
⇒ 2頁~8頁

- 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の総合満足度は67.8点（昨年度より0.2点上昇）。
- 融資又は条件変更の謝絶経験があると回答した中小企業の割合は4.7%（昨年度より3.4%低下）。

- ・ 過去5年間の総合満足度（66.8点~69.8点）と比較すると横ばい傾向。
- ・ 融資ありと回答した中小企業の総合満足度は71.4点（昨年度より0.4点上昇）、融資なしでは62.9点（昨年度より0.4点低下）。
- ・ 融資の謝絶経験割合は3.5%（昨年度より3.8%低下）、条件変更の謝絶経験割合は4.1%（昨年度より2.2%低下）。
- ・ 謝絶経験割合の低下から、地域密着型金融が一定程度進展し、中小企業金融の円滑化が図られていることが窺える。

#### ポイント2

中小企業の現状  
⇒ 9頁~17頁

- 試算表、資金繰り表、事業計画書を作成していると回答した中小企業の割合は、昨年度より上昇。
- メインバンクに情報提供（決算書類、業務内容、将来見通し、業界動向等）していると回答した企業、メインバンクが事業内容を理解していると回答した企業の総合満足度は高く、相互理解が進んでいる。

- ・ 試算表68.4%（昨年度より1.4%上昇）、資金繰り表34.3%（昨年度より3.3%上昇）、事業計画書23.6%（昨年度より7.1%上昇）。
- ・ メインバンクに「情報提供している」と回答した中小企業の総合満足度は70.8点~76.4点、「情報提供していない」では63.3点。
- ・ メインバンクが事業内容を「明確に理解している」と回答した中小企業の割合は24.7%で、総合満足度は78.7点と高い。
- ・ 中小企業と金融機関とのコミュニケーションを深化させるために、中小企業は試算表等を作成し、金融機関に対してより一層積極的に情報提供していく必要がある。

#### ポイント3

年度テーマ  
⇒ 18頁~21頁

- 担保や保証が無いと融資に応じてくれないと「感じている」中小企業は全体の48.5%
- 中小企業に対する理解を深めるためのメインバンクによる取組を「感じている」と回答した中小企業ほど総合満足度は高い。

- ・ 担保や保証に依存しない融資の推進にメインバンクが取り組んでいると「感じている」と回答した中小企業の割合は57.1%、市場の理解を深める取組では65.0%、競争環境の理解を深める取組では56.6%となった。
- ・ 中小企業に対する理解を深めるための金融機関の取組姿勢が、中小企業に対しても一定程度伝わっていることが窺える。
- ・ 金融機関は、中小企業に対する理解の深化に引き続き取り組むとともに、その取組姿勢が中小企業により一層伝わるよう努めていく必要がある。

#### 提言

#### 事業性評価に基づく融資の一層の活発化に向けて

提言  
⇒ 22頁

- ・ 地域密着型金融は一定程度進展も取組が不十分な項目がある
- ・ 中小企業と金融機関（メインバンク）の相互理解を深めていくことで、その関係を更に向上させていく必要がある。